



今木啓一郎の 古今東西

2018年
春号
vol.8

発行人 今木啓一郎 / 〒501-0222 瑞穂市別府 438-1 ☎058-327-6331 (2018年4月10日発行)



3月市議会
一般質問

- ICT教育推進事業の環境整備について
- ふるさと応援基金の活用と事情アピールについて

広がる電子黒板 活用授業!

児童生徒たちが、確かな学力と生きる力を身に付けることは本人だけでなく、保護者の願いでもあります。

また、昨今においては、情報化・グローバル化が進み、ICT機器活用力や情報処理の力を身に付ける教育の必要性の高まりから、当市でも電子黒板といったICT機器の導入が始まりました。

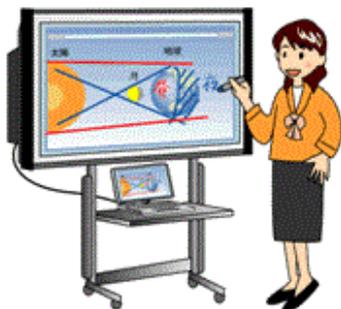
そして、昨年の岐阜県議会広報誌の9月定例会号のなかで、教員の働き方改革のなかでICTを活用した教材の共有化など

に取り組み、業務削減を進めるとあります。

そこで、当市においても、教員の校務用パソコンの更新、教材データ、児童生徒の学習成果など全市的な共有と蓄積のためにネットワーク環境づくり等の課題があると考えます。

ICTとはー

① 当市の全中学校においては、昨年の2学期より電子黒板・デジタル教科書によるICT教育機器を活用する授業が始まりましたが、未



したが、未整備の小学校についても計画整備しては。

② 電子黒板やデジタル教科書による授業が本格的に始まり、先生方による独自の教材研究や教材作成がなされつつあり、その貴重なノウハウや教材をいち個人、いち学校に留めるのでな

く、市内の全先生が共有し自身の授業に反映するため。また、先生の異動があっても貴重なノウハウや教材データが残るとともに、小学校から中学校に進学する際、小学校時代の成績、身体、生活情報などもスムーズに引継ぎ、共有されることも期待できるサーバなどによる市内全学校をつなぐネットワークシステム構築を考えては。

③ 現在、試験的に特別支援学級や体育や音楽などの授業で一部導入されているタブレット端末について、近い将来、教室内で30人〜40人の児童生徒が一斉にタブレット端末を使用することを想定すると

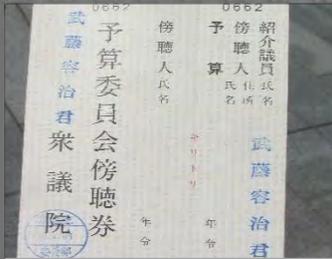


無線LAN(≒Wi-Fi)環境の整備は必要不可欠であります。また、教育面ばかりで

なく、万一、災害が起きた場合、学校・体育館等が避難所・地域の防災拠点として重要な役割を担うという防災面からも無線LAN環境整備を検討しては。



1/7 瑞穂市成人式



2/8 国会予算委員会傍聴



3/28 JR瑞穂駅周辺拠点化推進事業合同成果報告会



3/25 わくわく桜ウォーク

近況活動報告

ふるさと応援 基金」の活用

皆さんもご存知のように、ふるさと納税は、今は都会に住んでいても自分を育んでくれた「ふるさと」に貢献できる制度、お世話になった地域、これから応援したい地域へも力になれる制度として、平成20年に創設され今年で10年目を迎える納税制度です。

当市においては、制度開始の平成20年度、13万円の寄附金から始まり、担当者をはじめ行政努力と、平成27年1月1日からふるさと納税枠が約2倍に拡充され、さらに同年4月1日より、確定申告を行わずに控除が受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」の創設、寄附金額に応じて名産品などを「返礼」としてもらえる



仕組みがインターネットのポータルサイトやテレビCMによる宣伝効果などの効果もあり、平成28年度は約8千766万円、平成29年度は約3億円を超える寄附金を頂けました。

このような推移を踏まえ、当市では平成30年度、寄附金を活用すべく「小学校高学年対象に電子黒板70台購入」「保育所遊具新設工事」「小簾紅園休憩所ディスプレイ設置」など形として残るものに重点をおき1億1百万円をふるさと応援基金から拠出します。

そこで、私はふるさと納税の活用施策として小学校の電子黒板整備や保育所の遊具購入に充てられるのであれば、是非とも子どもたちにそのことを市長、または校長先生から直接お話しして戴く機会を作ってほしいと提案しました。何故ならば、子どもたちに瑞穂市民の方以外にも多くの応援者がいること、支えられていること。加えて、子どもたちにはいつまでも瑞穂市内に住み続けてほしいのですが

就職、転職、結婚など諸事情により当市を離れても『ふるさと瑞穂市』を応援できる手段があることも学び理解し、この出来事を鮮明にいつまでも記憶に残してほしいと考えるからです。

とぴつく

昨年12月の一般質問のなかで「今までみずほバスをご利用されたことのない方への乗車を促し便利さを実感していただく機会づくりとして、市の記念日に無料運行を企画されては」と提案をしたものが採用されたのか、以前から既に決まっていたのかはわかりませんが(笑)、この5月に市制15周年という節目の年を迎えるにあたり、4月30日(月・祝)～5月6日(日)「笑顔がみずほを元気にする」をテーマに「笑顔」にちなんだ多彩な事業が展開される当市のスマイルウィーク期間中、みずほバス(市内循環バス)は全線無料運行されます。

是非、この機会にご乗車されては。

